

研究課題番号	5RF-1802
研究課題名	超分子修飾グラフェンを用いた有害物質の可搬型迅速モニタリング手法の開発
研究実施期間	平成 30 年度～令和 2 年度
研究機関名	東京農工大学
研究代表者名	生田 昂

1. 委員の指摘及び提言概要

超分子修飾グラフェンを利用していくつかの微量環境汚染物質の測定に応用可能と思われるデータが提示され、大変魅力的なセンサーの開発と考えられる。環境計測の基礎技術としては斬新であり、論文発表も多く一定の成果を上げている。しかし、環境への応用という点では、まだかなり距離がある。どのような状況でどのような物質の測定に利用するのか、環境大気の測定にも応用できるのか、経時的な測定が可能か等、まだ不確かな点が多く、環境への利用を具体的にどのようにしたいのかが明確ではない。実用化を図るためには環境測定を専門とする研究者や環境測定メーカーなどの共同研究を今後図っていただくことで実用化までのギャップを埋めることを期待したい。

2. 採点結果

評価ランク：A